

ごあいさつ

茨城県地域リハビリテーションアドバイザーとは、それぞれの地域でリーダーとしてご活躍していただき、地域リハビリテーションの普及・充実を図ることを目的として作られました。平成20年度より、茨城県地域リハビリテーションアドバイザー養成事業指定講習会を実施し、実務経験が5年以上の方が、忙しい時間をやりくりしながら、講習会に参加し認定されております。平成22年度も新たに28名が認定され、現在は76名となりました。



活動報告 アドバイザー交流会を開催しました

- 去る平成23年2月26日、水戸市パルファン・ヴェールにて『地域リハビリテーションアドバイザー交流会』を開催致しました。

交流会の様子

毎年行われています茨城県地域リハビリテーションアドバイザー養成指定講習会特別講演会の後に第2回となりますアドバイザー交流会を開催しました。県内全域から、アドバイザー認定者7名、今年度のアドバイザー養成講習会受講者12名と、講演会終了後、講演会講師 札幌西円山病院副院長 横串算敏先生も交流会にご参加下さいました。また、大田先生もお忙しい中足をお運び下さいました。

参加者の顔ぶれも、看護師・介護士・ケアマネージャー・社会福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士といった多種多様な職種、また活躍の場も医療から地域福祉まで幅広く、様々な分野に携わる方々が一同に集う会となりました。おしゃれなレストランでコース料理を頂きながら、和やかな雰囲気の中で会が行われました。

交流会を終えて

茨城県立医療大学付属病院 橋爪 佑子

2011年2月26日（土）に行われた平成22年度の地域リハビリテーションアドバイザー交流会に参加しました。交流会は同日研修会の講師をしていただいた横串算敏先生を始め、大田仁史先生、伊佐地隆先生を囲んで和やかに行われました。参加者は地域リハビリテーションアドバイザー講習会を卒業した卒業生と、平成22年度を受講生が入り混じり、現在の活動内容の報告を行ったり、疑問点について先生方よりアドバイスをいただいたりと、たくさんの交流が生まれ、とても充実した会でした。

地域リハビリテーションアドバイザーには医師や看護師、療法士、社会福祉士、介護福祉士、ヘルパー、ソーシャルワーカーなど医療や福祉に関わるさまざまな職種の方が研修を受けて認定されています。私たちは普段は専門職として働いていますが、アドバイザーの研修会やこのような交流会で自分の領域以外の職種の方から話を聴くことができるため、自分の知識が広がり、アドバイスを必要とされている方により幅の広い情報提供ができるのではないかと考えています。また交流会の中で、みなさまがそれぞれの地域でさまざまな活動をされていることを知ることができました。自分の働いている以外の地域での活動を聴く機会が少ないため、とても興味深かったです。私はアドバイザーとして自分にどのようなことができるのか模索中ですが、今回みなさまのお話を聴くことができ、とても参考になりました。

私は理学療法士として病院に勤めています。患者さんが退院されて地域でより快適に安全に生活していくには、病院から地域へのスムーズで正確な情報交換が重要ではないかと考えています。今回のような交流会や講習会などで職域を越えたつながりが増えることで、より詳細な情報交換や意見交換ができ、それが患者さんや障害を持った方々のよりよい生活につながっていければと思います。

最後に、おいしいお料理を食べながら、先生方やみなさまと雑談も交えながらわいわい過ごすのは、とても楽しい時間でした。このような輪が、まずは茨城県全体に広がっていくといいなと思います。



アンケート結果

現在の活動状況などをお聞きしました

2011年1月実施 対象48名中 回答27名 回答

① 現在、地域リハビリアドバイザーとして、行っている活動がありますか？

●地域の相談 5名 ●講師 4名 ●発表 0名 ●著述 0名 ●その他 2名 ●活動していない 20名

② 今後、行っていきたい活動がありますか？

●地域の相談 18名 ●講師 5名 ●発表 5名 ●著述 2名 ●分からない 9名

③ アドバイザーとして活動する上で、問題と思うことはありますか？

●地域に周知されていない 14名 ●どう活動したらいいかわからない 19名
●自分の業務との兼務が難しい 14名 ●特に問題を感じない 0名 ●その他 2名



■ 今回のアンケート結果から、アドバイザーの認定を受けたものの、具体的に活動できていない方が多いように思う。しかし、特に地域の相談など今後活動を行っていききたいという意見も多く聞かれている。アドバイザーとして活躍しやすい環境づくりや周知活動も今後必要かもしれない。

「地域リハビリテーションアドバイザーとして思うこと」

医療法人博仁会 志村大宮病院・茨城北西総合リハビリテーションセンター 上倉 洋人

私は、地域リハビリテーションアドバイザーとして研修で学んだリハ分野に関する幅広い知識と専門性を活かした『リハビリテーション総合相談窓口』を目指しております。医療資源の乏しい県北西部での一般病院で従事する理学療法士としては、その役割が“病院という地域”での“リハの中での医療寄り”になることがほとんどとなってしまいますが、自分自身でももちろんのこと患者・家族や他職種に対して、その人らしい地域生活を継続できるような働きを行っていくよう心がけております。その際には自ら他ネットワークとの連絡・調整に終始するのではなく、あくまで裏方に徹し、相談してきて頂いた方々に対して「こうしてみようか?」、「こうなると楽しくない?」と、その方々自身が地域リハの主役となってもらえるよう盛りたてていきたいです。恰好つけて言うならば、私の目指すものは地域における様々なニーズという小さな火種を探し当て、それを地域の皆で大きな炎として燃え上がらせる際の『アディエーター(扇動者)』というのでしょうか。

地域には長い歴史や色々な背景があります。急激な変化を求めず、大きなお世話とならないように、その地域に対してしっかりと同意を取るという形で、潜在した本当に望まれている物に対してゆっくりとアプローチできたらと考えております。

茨城県地域リハビリテーションアドバイザー認定者の皆さんへ

伊佐地 隆

地域リハビリテーションアドバイザー制度も、産声をあげてからはや3年が過ぎ、第3期の認定者が加わり、総勢76名となりました。このニュース第2号は、第2期認定者が中心になって開催した交流会の様子を中心にまとめてくれました。まだ少数のグループであり試行錯誤の活動であるため、何をしたらよいかのなかなかつかめないという意見が多く聞かれています。石の上にも3年ですが、第1期認定者もまだ3年目であり、アドバイザーの役割が見えてくるにはもう少し時間が必要かもしれません。小さな魚が群れをなして1つの形を作るように、もう少し数が増えないと全体の形も作れないのかもしれませんが、しかし、県内のリハビリテーション関係団体や活動の中心メンバーとして、アドバイザーたちは着実に位置づけられてきていますし、それぞれの持ち場で指導的な立場で活躍しています。一人一人の存在や活動が、確実にこれからの土台になっていることは疑いもありません。何をしたらよいか?・・・いつも話していますが、アドバイザーのひとたちの日々の仕事、「自分の業務」はすべて地域リハビリテーションの活動の1つです。その仕事に誇りをもって、アドバイザーであることを自覚して、地域で生活する人たちのことを思って、精一杯臨んでいくこと、それでいいと思います。そのうち気がつくとき皆さんの周りに人は集まっていると思います。

茨城県地域リハビリテーションアドバイザー認定者をご活用ください

下記のとおり、茨城県地域リハビリテーションアドバイザーは、現在 76 名認定者がおります。研修会・講演会の講師、また地域リハに関する相談等などご依頼ください。
 (茨城県地域リハビリテーション支援センターホームページに茨城県地域リハビリテーションアドバイザー認定者の情報を掲載しております)

病院HP <http://www.hosp.ipu.ac.jp/> (地域リハ支援センターのページをご覧ください)

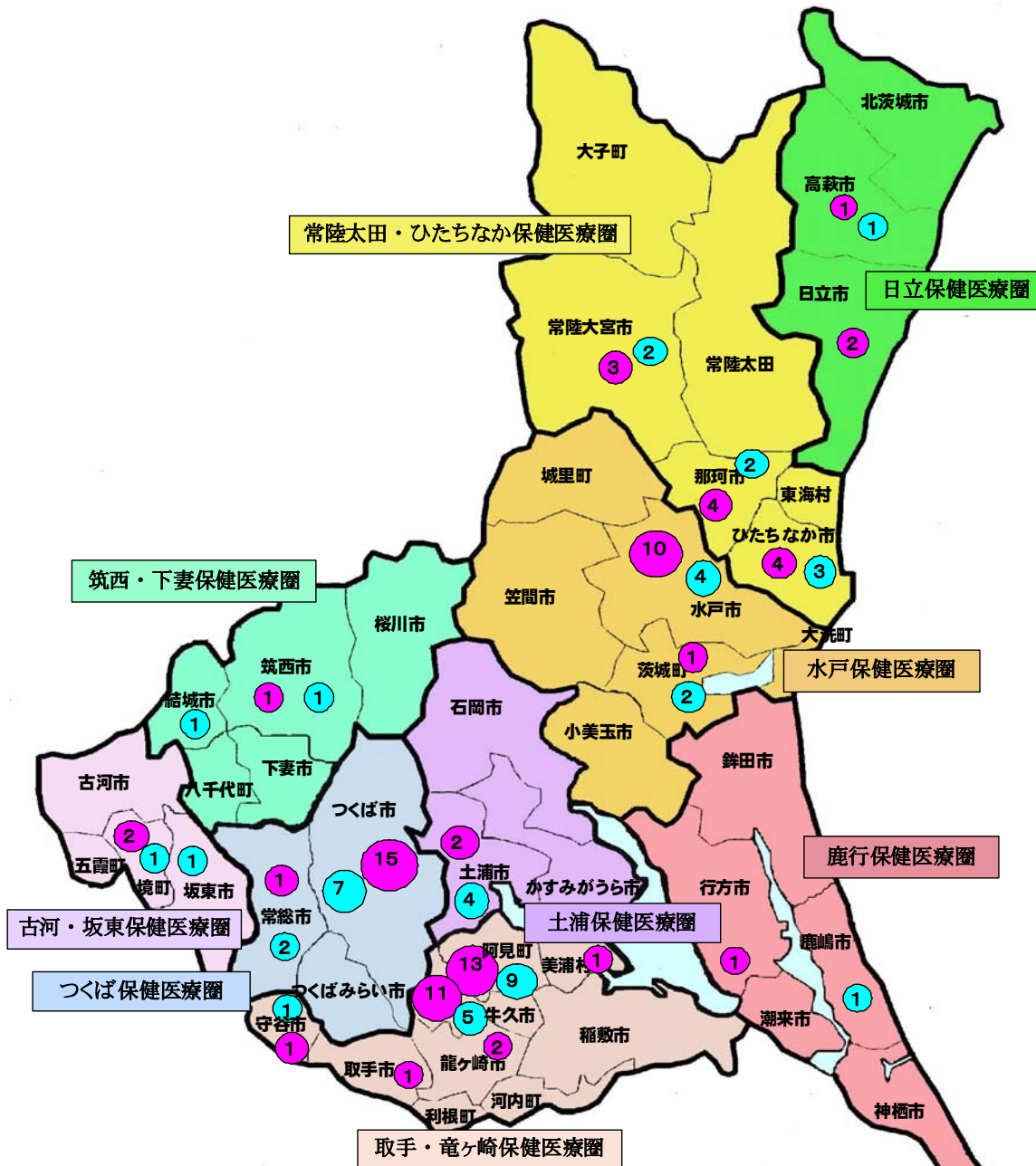


アドバイザー認定者(講習受講者)の分布

アドバイザー認定者・講習受講者の分布

アドバイザー認定者 76名 アドバイザー受講者 47名(平成23年7月1日現在)

- ● ● 茨城県地域リハビリテーションアドバイザー認定者
- ● ● 茨城県地域リハビリテーションアドバイザー講習会受講者





お知らせ

日本リハビリテーション医学会市民公開講座 いばらきリハビリテーションのつどい

いいご縁 リハビリでひろがる 明るい未来

日時 10:00～16:00 受付開始9:30
2011年**11月5日**土

会場 つくば国際会議場 エポカル
大会議室101,102 多目的ホール
茨城県つくば市竹園2丁目20-3

入場無料
(定員500人)

講演

「宇宙飛行と
リハビリテーション」
JAXA 宇宙技術部
宇宙医学学生物学研究室 主任研究員
山田 深先生



リハ医学会設立50周年特別企画
「未来を拓く
リハビリテーション医学」
日本リハビリテーション医学会 理事長
慶應義塾大学医学部
リハビリテーション医学教室教授
里宇 明元先生



「茨城県の地域
リハビリテーションの道
～住民主体の介護予防事業の展開～」
茨城県立健康プラザ管理者
茨城県立医療大学 名誉教授
大田 仁史先生



プログラム

第1会場		第2会場	
[多目的ホール]		[大会議室101+102+エントランスホール]	
10:00	◆開会セレモニー		
10:15	◆講演Ⅰ 宇宙飛行とリハビリテーション 講師 山田 深先生	リハビリ経験者の 実体験①	◆健康相談コーナー
11:00	(休 憩)	フォーカスユニット 三叉路	◆リハビリ 相談コーナー
11:25	◆講演Ⅱ リハ医学会設立50周年特別企画 未来を拓くリハビリテーション医学 講師 里宇 明元先生	ナレーション バリエーション 小石 リジック	◆介護相談コーナー
12:20	(休 憩)		◆器具・書籍 相談コーナー
13:00	◆講話 借一 011 日経新聞 敬とお話		◆展示コーナー
13:40	(休 憩)		◆体力測定コーナー
13:45	◆講演Ⅲ 茨城県の地域リハビリテーションの道 ～住民主体の介護予防事業の展開～ 講師 大田 仁史先生	リハビリ経験者の 実体験②	◆相談コーナー-仕事 相談コーナー
15:00	(休 憩)		
15:10	◆グランドフィナーレ 大いはいせヘルス体操大会 シルバーリハビリ体操部 演奏		
15:45	◆閉会セレモニー		
16:00			

※昼食はお弁当の事前申込みが可能です

主催：日本リハビリテーション医学会
企画運営：いばらきリハビリテーションのつどい実行委員会
企画協力：茨城県立

お申込み
お問い合わせ
いばらきリハビリテーションのつどい事務局
茨城県立医療大学付属病院
電話番号 029-888-9210 (月～金 9:00～17:00)
FAX番号 029-888-9280

日本リハビリテーション医学会市民公開講座
いばらきリハビリテーションのつどい

いいご縁 リハビリでひろがる明るい未来

【日時】2011年11月5日(土)
10:00～16:00(受付開始9:30)
【会場】つくば国際会議場 エポカル

入場無料 (定員500人)

*昼食はお弁当の事前申込みが必要です。

【お申し込み・お問い合わせ】
いばらきリハビリテーションのつどい事務局
茨城県立医療大学付属病院

電話番号 **029-888-9210**
(月～金 9:00～17:00)

FAX番号 **029-888-9280**

地域のリハビリテーションに興味をお持ちの県
民の皆様には是非ご周知ください。

ご連絡

今年度の茨城県地域リハビリテーションアドバイザー養成指定講習会 特別講習会は、決まり次第ご連絡いたします。

アドバイザーの皆様、年度ごとに活動報告の提出をお願いいたします。また、アドバイザー情報に変更した場合は、事務局へご連絡ください。

事務局

<お問い合わせ・お申し込み>

茨城県立医療大学付属病院 地域リハ支援センター 事務局
〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733
TEL 029-888-9210 FAX 029-888-9280
病院HP <http://www.hosp.ipu.ac.jp/>
(地域リハ支援センターのページをご覧ください)

編集・発行 平成23年9月1日

茨城県地域リハビリテーションアドバイザー
平成22年度認定者 連絡係

茨城県地域リハビリテーション支援センター
事務局